

ANAホールディングス株式会社 説明会

- ・長期戦略構想(概要)
- ・2015年3月期 第3四半期 決算

代表取締役社長
伊東 信一郎

専務取締役 執行役員
殿元 清司

2015年2月2日



目次

【第1部】

・長期戦略構想(概要)

2014-16年度 中期経営戦略	
2014年度計画の進捗状況	P. 4
2015-16年度の対応	P. 5
長期戦略構想	
環境認識と長期構想の位置付け	P. 6
事業ポートフォリオの方向性	P. 7
航空事業における事業規模と生産量	P. 8
国際線ネットワーク展開の考え方	P. 9
航空機の追加発注と今後の機材計画	P. 10
長期的な価値創造目標	P. 11

航空事業(国内旅客事業)	P. 21-22
航空事業(国際旅客事業)	P. 23-25
航空事業(国内貨物事業)	P. 27
航空事業(国際貨物事業)	P. 29-30
航空事業(LCC事業)	P. 31
航空事業以外のセグメント	P. 32
燃油・為替ヘッジの進捗状況	P. 33
営業利益計画への影響試算	P. 34

・補足資料

国際旅客 方面別実績	P.36
国際貨物 方面別実績	P.37
運用航空機数	P.38

【第2部】

・2015年3月期 第3四半期 決算

業績ハイライト	P. 14
連結決算概要(経営成績)	P. 15
連結決算概要(財政状態)	P. 16
連結決算概要(キャッシュフロー)	P. 17
連結決算概要(セグメント別実績)	P. 18
航空事業(収入・費用)	P. 19
航空事業(営業利益増減要因)	P. 20

【第1部】

・長期戦略構想(概要)

1. 2014年度計画の進捗状況
2. 現行の経営戦略における2015-16年度の対応
3. 長期戦略構想



航空事業を中心とした実績の積み重ねにより、現行戦略の正当性を実証

《2015年3月期 第3四半期 決算(連結)》

- ✓ 第3四半期累計で過去最高の売上高に
- ✓ 営業利益は前年比で約3割の増加

(単位:億円)	第3四半期	前年差	前年比
売上高	12,972	+ 1,079	+ 9.1%
航空事業	11,242	+ 903	+ 8.7%
営業利益	892	+ 202	+ 29.3%
航空事業	782	+ 156	+ 25.0%
営業利益率(%)	6.9	+ 1.1	-
経常利益	745	+ 209	+ 39.0%
当期純利益	523	+ 190	+ 57.2%
EBITDA	1,867	+ 164	+ 9.6%

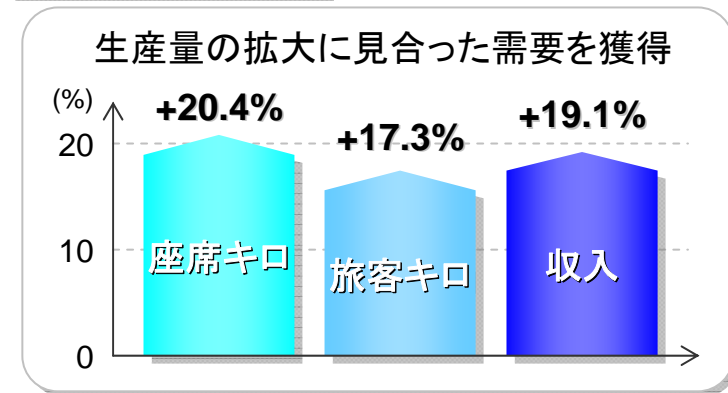
適切なコストマネジメント

- ・コスト構造改革は計画通りに進捗 (3Q累計:240億円)
- ・為替ヘッジの機動的対応 (利益目標の達成確度を向上)

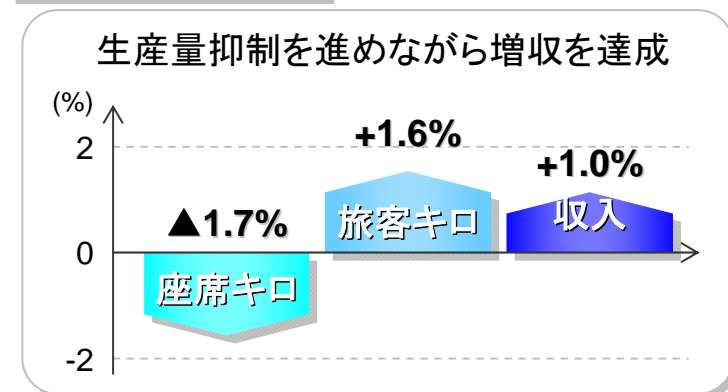
トピックス
アップラインの伸長

《1-3Q 累計実績》

国際線旅客事業



国内線旅客事業



市況前提を見直した上で、現行の経営戦略を継続

現行戦略策定後の状況

今回見直しする内容

市況前提
(原油・為替)

- ◆ 円安の進行
- ◆ 原油価格の下落

- ✓ 市況前提の変更 (⇒詳細はP.34)
【収入】外貨収入(増)、燃油サーチャージ収入(減)
【費用】外貨費用(増)、燃油費(減)

コスト構造改革

- ◆ 削減項目の精査
【FY15】300億円
【FY16】200億円

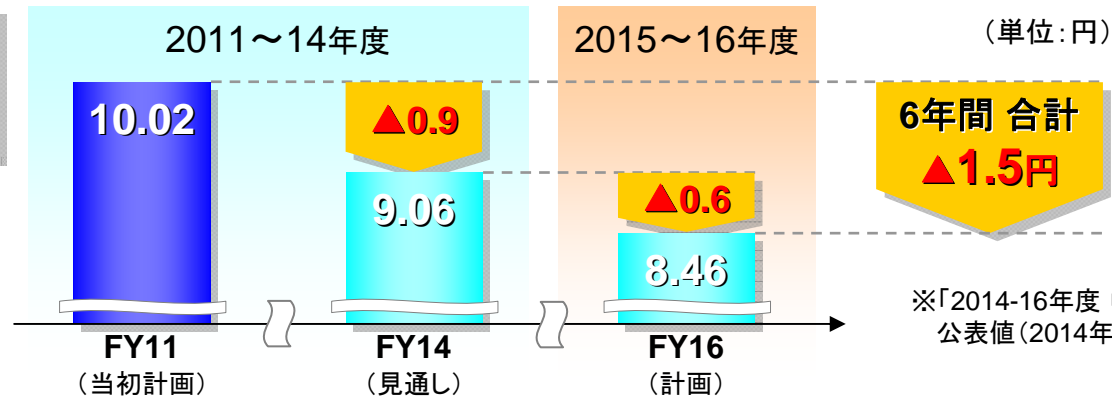
- ✓ 具体的な削減内容と効果額の反映
【FY15】250億円 ⇒ 当初計画比 ▲50億円
【FY16】250億円 ⇒ 当初計画に到達

FY15-16対応
基本的な考え方

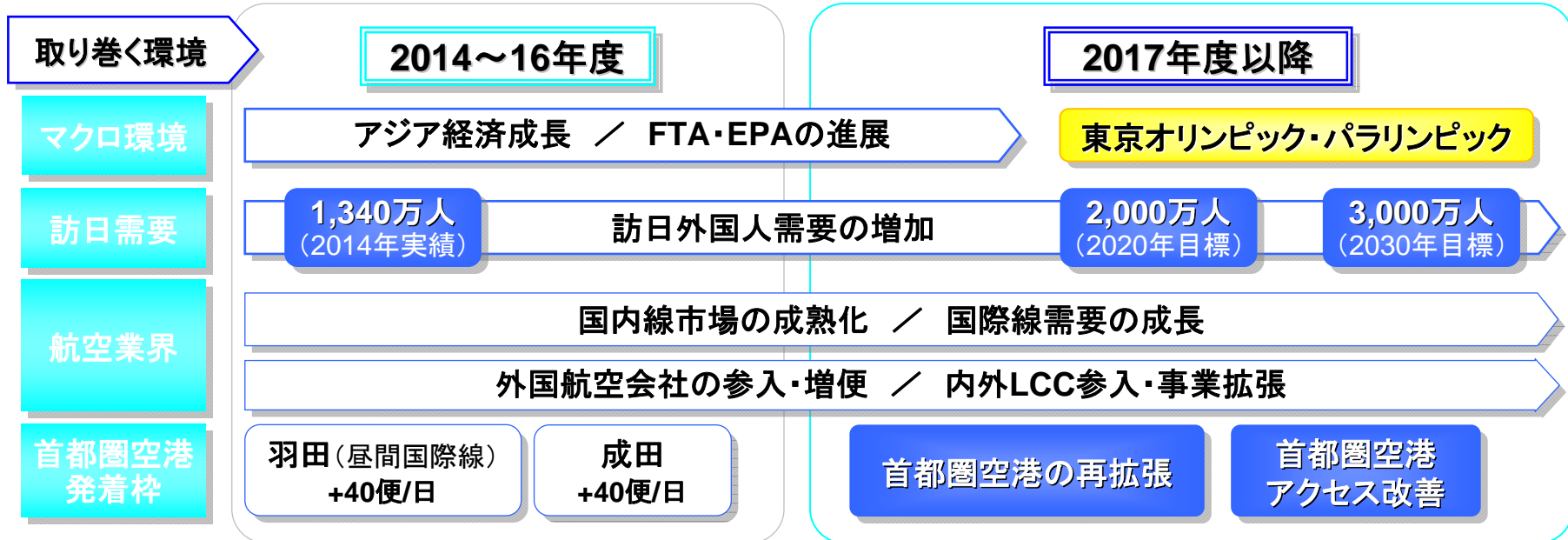
- 【FY11-14】
- ・組織単位での削減策の積み上げ
 - ・トップダウン型

- 【FY15-16】
- ・グループ会社間の組織横断的な取り組み
 - ・ボトムアップ型

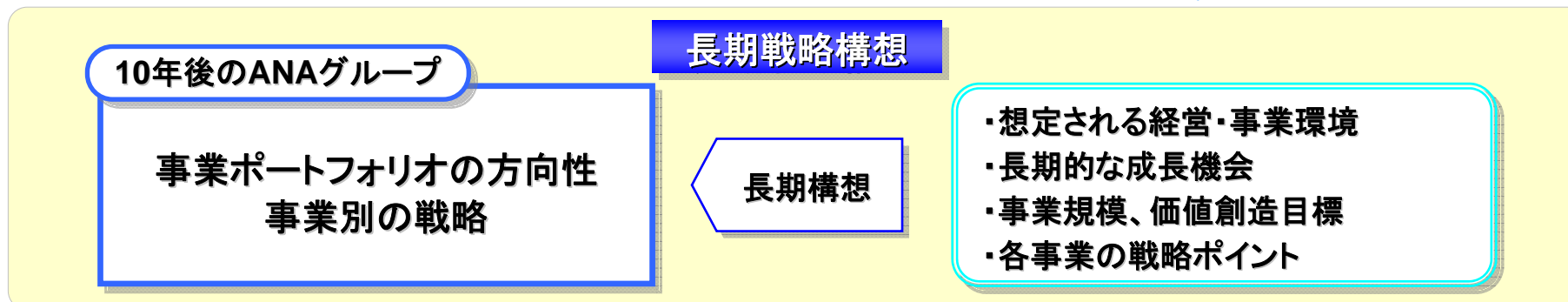
航空事業
ユニットコスト推移
(燃油費除く)



追い風となる外部環境の下で、中・長期的なビジネスチャンスグループの成長に繋げる



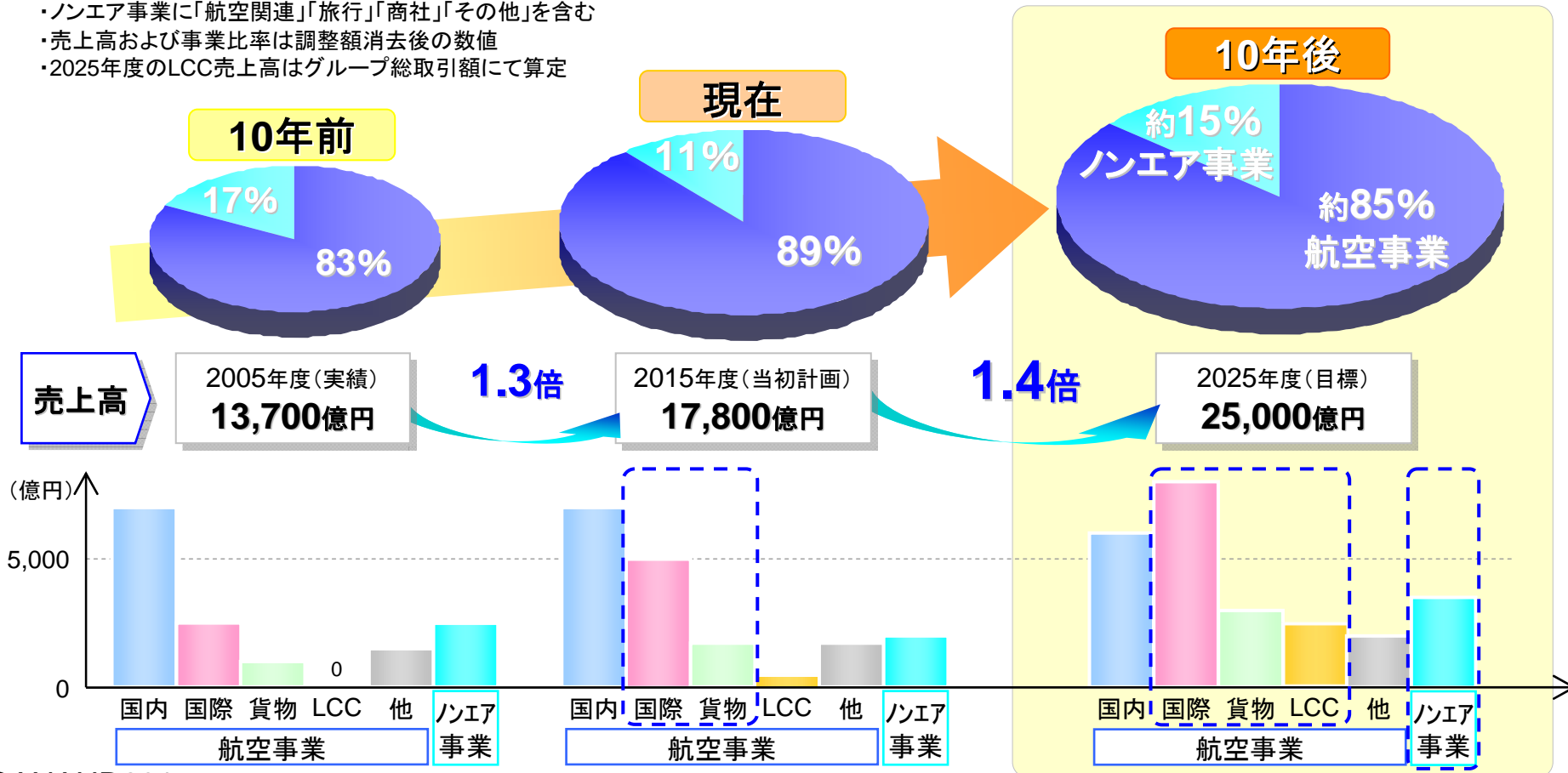
中・長期的なビジネスチャンスグループの成長に



航空事業の持続的成長とノンエア事業の育成により、収益ドメインを拡大

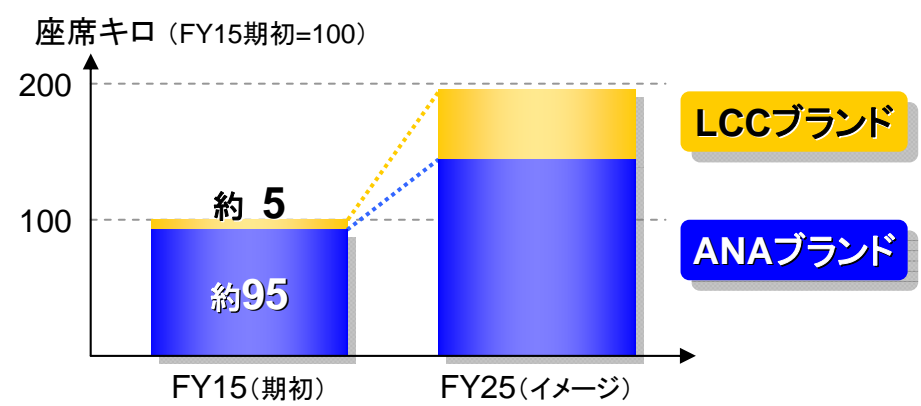
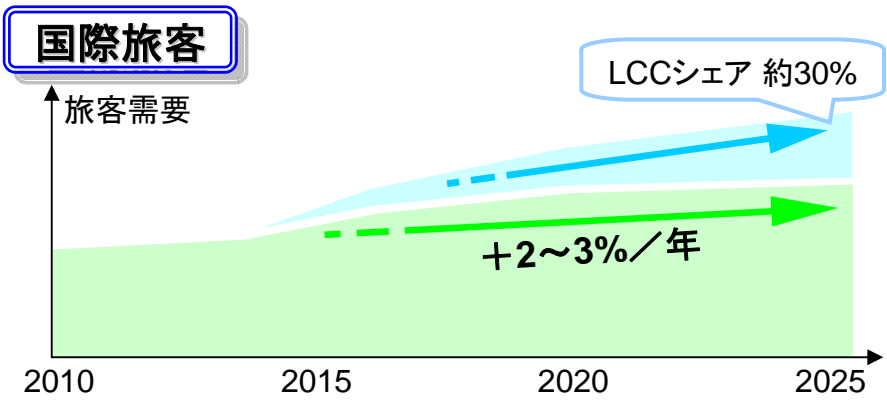
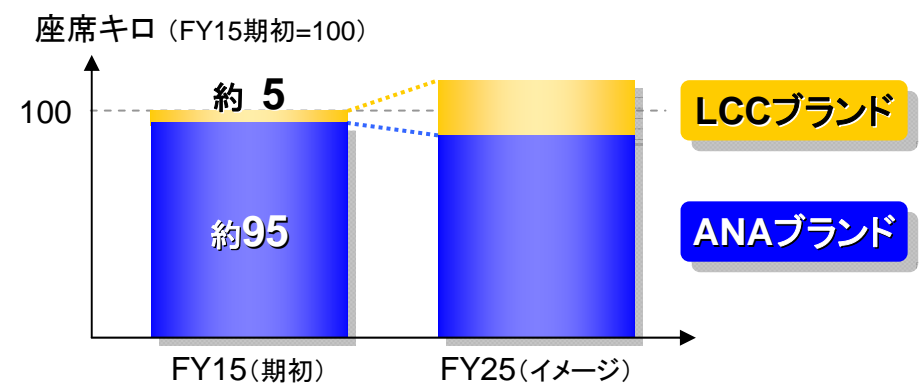
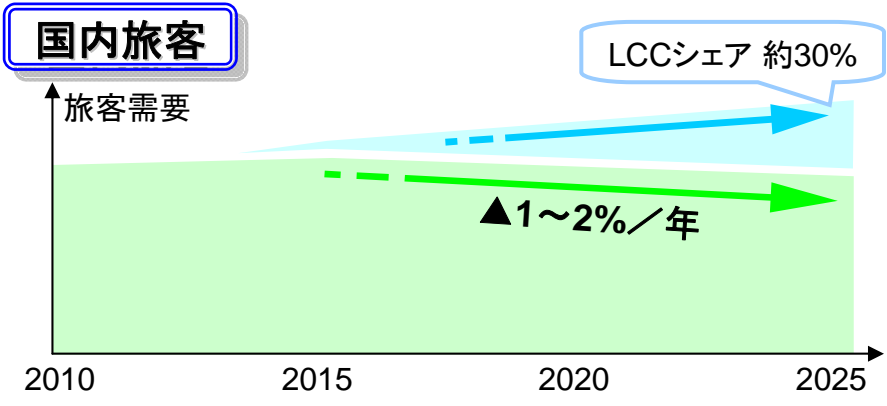
- ✓ 10年後の連結売上高として**2兆5,000億円**規模を目指す
 - ・グループのコア事業である**航空事業**は、国際線事業を成長ドライバーとして事業拡大を継続
 - ・**ノンエア事業**の成長により、航空事業以外でも複数の事業で収益に貢献

- ・ノンエア事業に「航空関連」「旅行」「商社」「その他」を含む
- ・売上高および事業比率は調整額消去後の数値
- ・2025年度のLCC売上高はグループ総取引額にて算定



国内線の収益力を維持しながら、国際線・LCCの事業拡大で更なる収益向上へ

【ANAブランド】 国内線事業は「需給適合」を継続、国際線は事業拡大の継続による成長戦略を追求
【LCCブランド】 国内線・国際線ともに新規需要を創出しながら就航路線を拡大、訪日需要の取り込みも強化

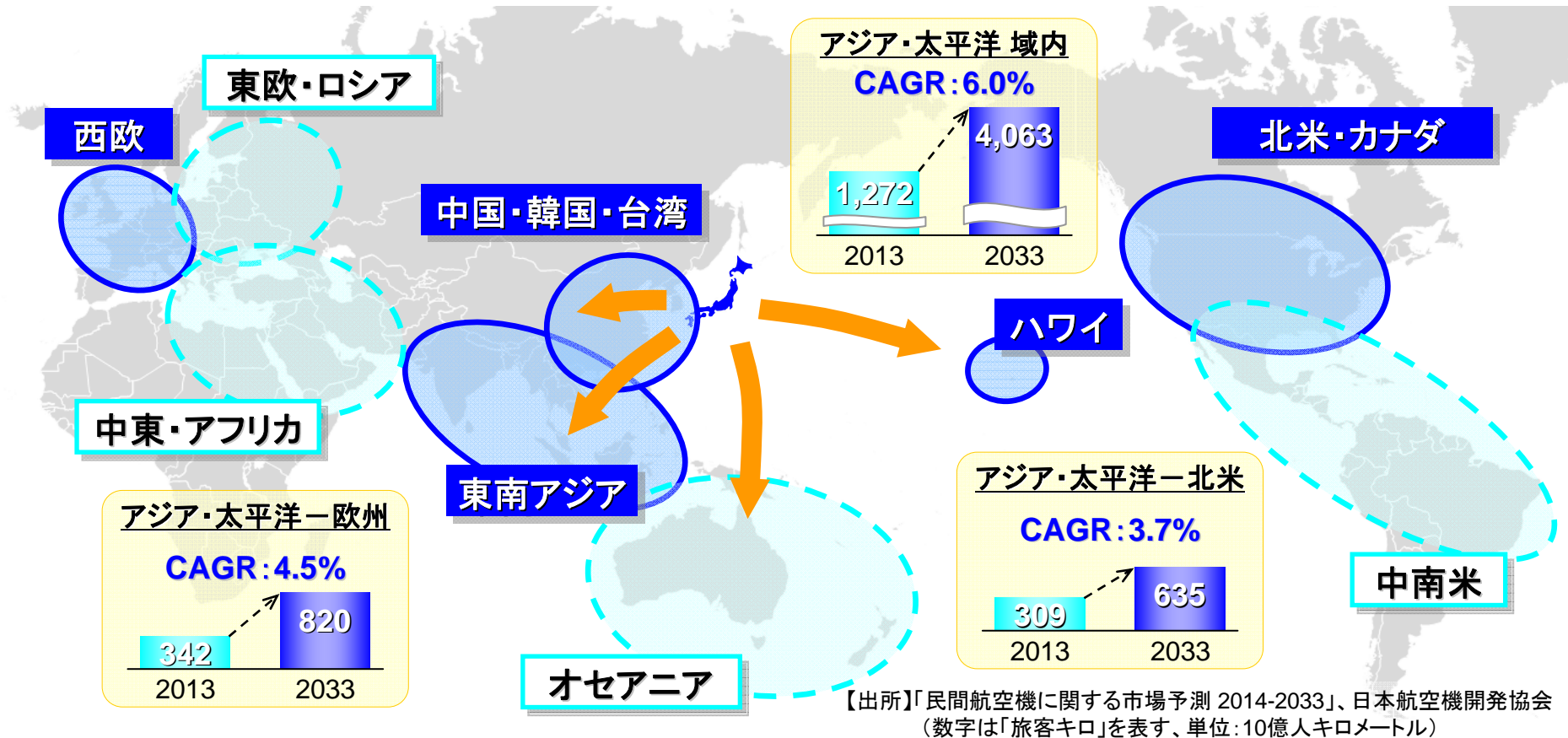


フルサービスキャリア需要 LCC潜在需要
(他社を含む日本発着ベース、国土交通省データ+当社推計)

ANAブランド LCCブランド

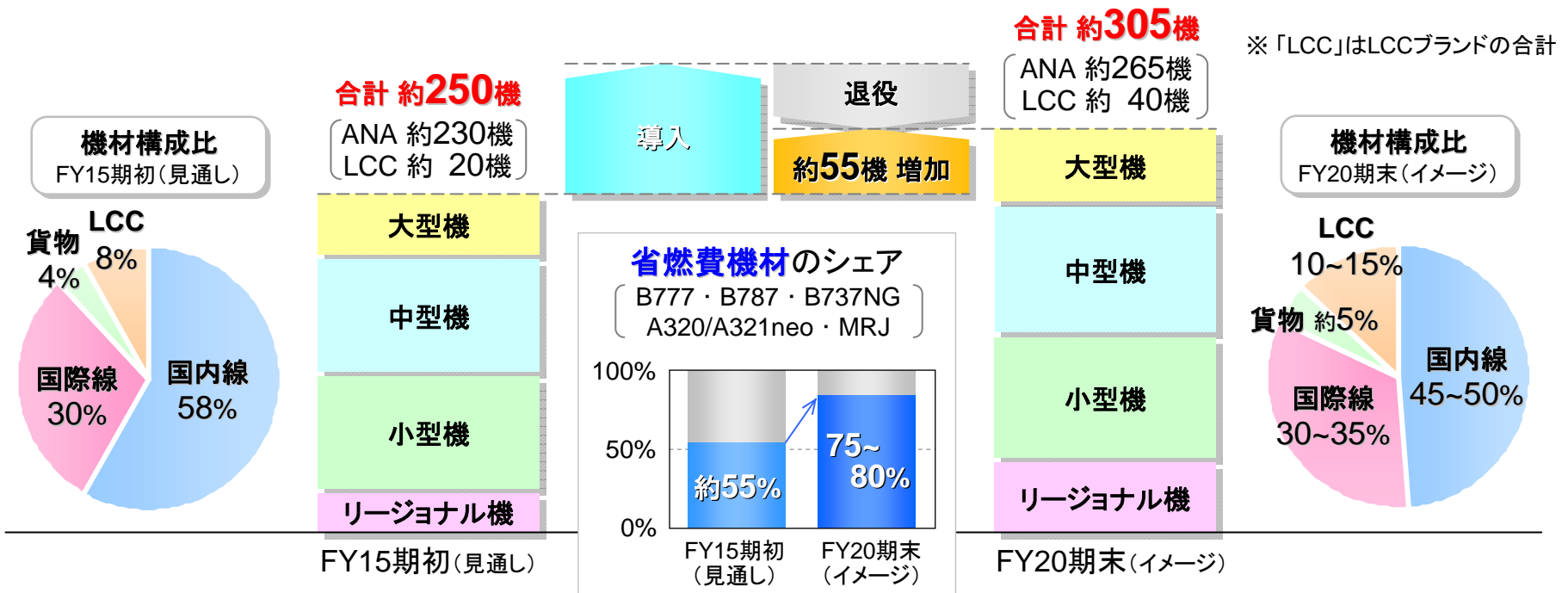
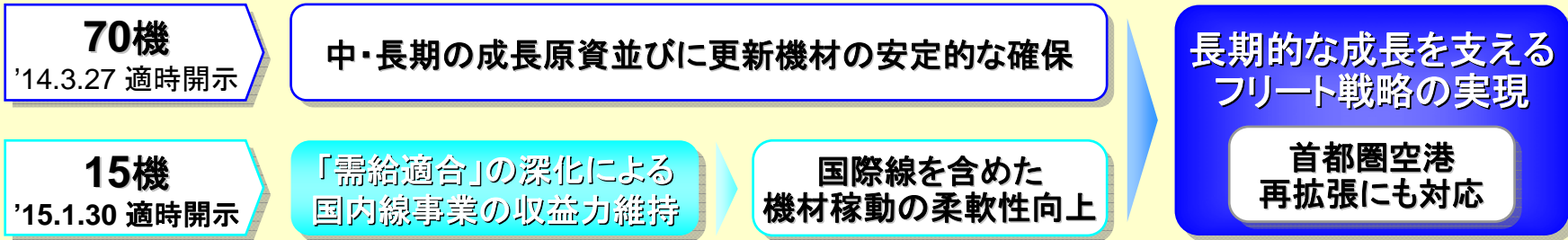
マルチブランドのもとで、国際線ネットワークの更なる充実を図るステージへ

【 ネットワーク展開イメージと航空需要予測 】

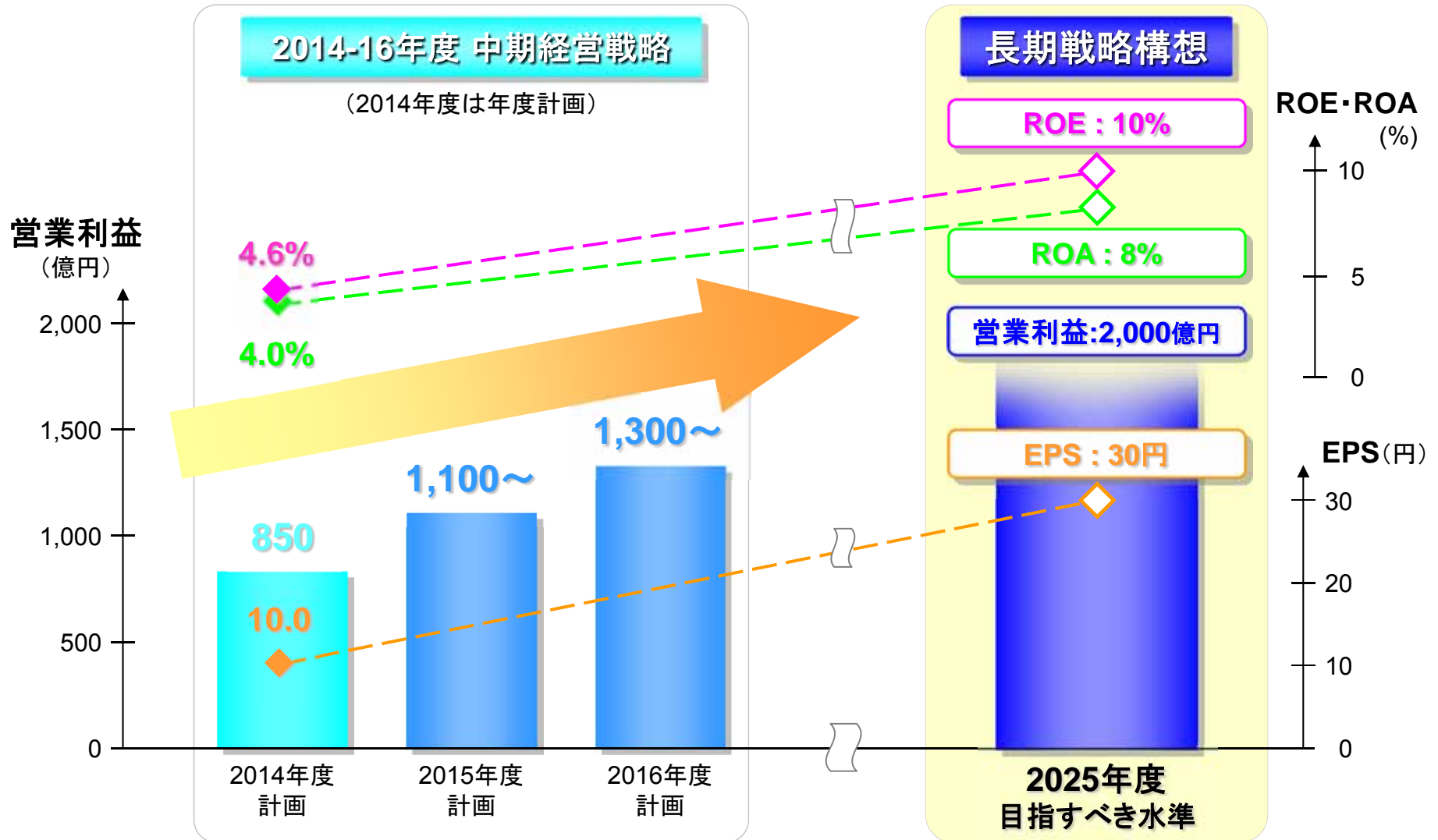


航空事業における長期的な成長を支えるフリート戦略を実現

航空機調達目的と効果



グロース戦略の追求を通して、価値創造経営の更なる深化を果たす



Intentionally Blank

【第2部】

. 2015年3月期 第3四半期 決算



業績ハイライト

当年度と前年度各四半期の業績比較

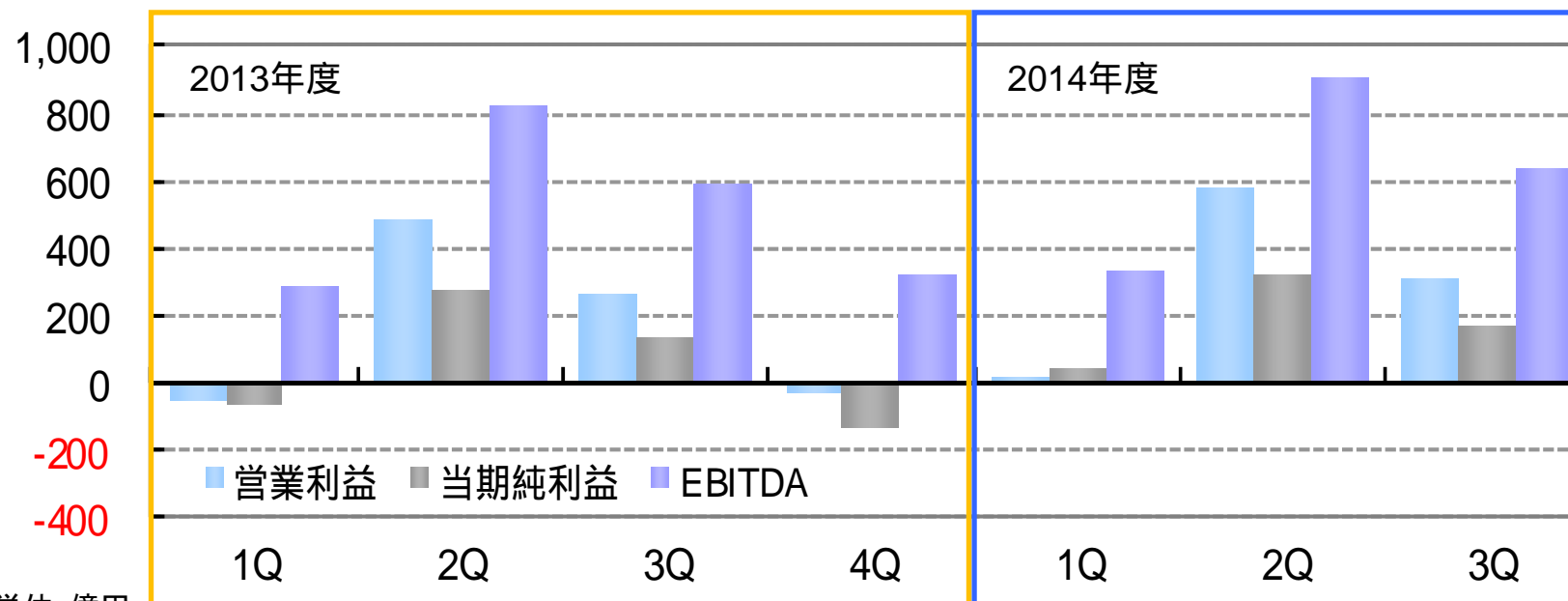
前年同期より大幅な増益を達成

【第3四半期累計(連結)】

- 営業利益 : 892億円 (前年同期比 + 202億円)
- 当期純利益 : 523億円 (同 + 190億円)
- EBITDA : 1,867億円 (同 + 164億円)

第3四半期のみ(10-12月期)

- 営業利益 313億円
- 当期純利益 165億円
- EBITDA 639億円



単位: 億円
(¥100Million)

連結決算概要

経営成績

単位: 億円
(¥100Million)

		前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年差 Difference	第3四半期 3Q/FY14	前年差 Difference
売上高	Operating Revenues	11,893	12,972	+ 1,079	4,424	+ 363
営業費用	Operating Expenses	11,202	12,079	+ 876	4,110	+ 306
営業利益	Operating Income	690	892	+ 202	313	+ 56
営業利益率	Op. Margin (%)	5.8	6.9	+ 1.1	7.1	+ 0.7
営業外損益	Non-Op. Gains/Losses	△ 153	△ 147	+ 6	△ 48	△ 8
経常利益	Recurring Income	536	745	+ 209	264	+ 47
特別損益	Extraordinary Gains/Losses	22	116	+ 94	14	+ 5
当期純利益	Net Income	333	523	+ 190	165	+ 33
少数株主損益調整前 当期純利益	Net Income Before Minority Interests	321	531	+ 209	169	+ 36
その他包括利益	Other Comprehensive Income	232	26	△ 205	△ 188	△ 421
包括利益	Comprehensive Income	553	557	+ 3	△ 19	△ 384

事業上の関連性の高い航空会社に対する航空機燃料の売上取引については、
当期より、売上高と売上原価を相殺して純額にて売上高を計上する方法に変更しています。
なお、当該会計方針の変更は、前年同期の実績についても遡及適用されています。

連結決算概要

財政状態

単位: 億円
(¥100Million)

		前年度期末 Mar 31, 2014	第3四半期末 Dec 31, 2014	前年度期末差 Difference
総資産	Assets	21,736	23,167	+ 1,431
自己資本	Shareholders' Equity	7,460	7,964	+ 503
自己資本比率(%)	Ratio of Shareholders' Equity (%)	34.3	34.4	+ 0.1
有利子負債残高	Interest Bearing Debts	8,347	8,349	+ 2
D/Eレシオ(倍)*	Debt/Equity Ratio (times)	1.1	1.0	△ 0.1
純有利子負債残高**	Net Interest Bearing Debts	4,616	4,596	△ 19

* オフバランスリース債務額1,011億円(前年度期末1,210億円)を含むD/Eレシオは1.2倍(前年度期末1.3倍)

** 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - (流動資産(現金及び預金 + 有価証券))

連結決算概要

キャッシュフロー

単位: 億円
(¥100Million)

		前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年差 Difference
営業キャッシュフロー	Cash Flow from Operating Activities	1,909	1,935	+ 26
投資キャッシュフロー	Cash Flow from Investing Activities	△ 1,456	△ 2,220	△ 763
財務キャッシュフロー	Cash Flow from Financing Activities	△ 920	△ 150	+ 769
現金及び現金同等物の増減額	Net Increase or Decrease	△ 467	△ 427	+ 39
現金及び現金同等物の期首残高	Cash and Cash Equivalent at the beginning	1,912	2,409	} △ 411 **
現金及び現金同等物の期末残高	Cash and Cash Equivalent at the end	1,446	1,997	
減価償却費	Depreciation and Amortization	1,012	974	△ 38
設備投資額(固定資産のみ)	Capital Expenditures	1,373	2,203	+ 829
実質フリーキャッシュフロー (3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く)	Substantial Free Cash Flow (excluding periodic/negotiable deposits of more than 3 months)	715	150	△ 565
EBITDA *	EBITDA	1,703	1,867	+ 164
EBITDAマージン(%)	EBITDA Margin (%)	14.3	14.4	+ 0.1

* EBITDA: 営業利益+減価償却費

** 連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物への影響額含む

連結決算概要

セグメント別実績

単位: 億円
(¥100Million)

		前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年差 Difference	第3四半期 3Q/FY14	前年差 Difference	
売上高 Revenues	航空事業	Air Transportation	10,338	11,242	+ 903	3,820	+ 302
	航空関連事業	Airline Related	1,422	1,705	+ 282	615	+ 123
	旅行事業	Travel Services	1,335	1,306	△ 28	416	△ 11
	商社事業	Trade and Retail	826	949	+ 122	336	+ 47
	報告セグメント計	Total for Reporting Segments	13,923	15,204	+ 1,280	5,189	+ 462
	その他	Others	217	235	+ 17	79	+ 4
	調整額	Adjustment	△ 2,248	△ 2,467	△ 219	△ 844	△ 104
	合計(連結)	Total	11,893	12,972	+ 1,079	4,424	+ 363
営業利益 Operating Income	航空事業	Air Transportation	626	782	+ 156	264	+ 29
	航空関連事業	Airline Related	62	94	+ 32	42	+ 17
	旅行事業	Travel Services	42	44	+ 2	16	+ 2
	商社事業	Trade and Retail	29	32	+ 3	14	+ 3
	報告セグメント計	Total for Reporting Segments	759	954	+ 194	337	+ 53
	その他	Others	9	13	+ 4	5	+ 1
	調整額	Adjustment	△ 78	△ 74	+ 3	△ 29	+ 1
	合計(連結)	Total	690	892	+ 202	313	+ 56

事業上の関連性の高い航空会社に対する航空機燃料の売上取引については、P15脚注の通り、会計方針の変更が適用されています。

航空事業

収入・費用		単位: 億円 (¥100Million)	前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年差 Difference	第3四半期 3Q/FY14	前年差 Difference
売上高 Operating Revenues	国内線旅客	Domestic Passengers	5,182	5,232	+ 50	1,774	+ 35
	国際線旅客	International Passengers	2,974	3,541	+ 567	1,183	+ 174
	貨物郵便	Cargo and Mail	1,085	1,262	+ 176	458	+ 58
	その他	Others	1,096	1,206	+ 109	404	+ 33
	合計	Total	10,338	11,242	+ 903	3,820	+ 302
営業費用 Operating Expenses	燃油費・燃料税	Fuel and Fuel Tax	2,514	2,854	+ 339	981	+ 126
	空港使用料	Landing and Navigation Fees	818	860	+ 41	287	+ 15
	航空機材賃借費	Aircraft Leasing Fees	588	680	+ 91	233	+ 33
	減価償却費	Depreciation and Amortization	962	932	△ 30	311	△ 14
	整備部品・外注費	Aircraft Maintenance	638	644	+ 6	226	+ 2
	人件費	Personnel	1,213	1,224	+ 11	400	+ 20
	販売費	Sales Commission and Promotion	581	744	+ 163	252	+ 47
	外部委託費	Contracts	1,178	1,272	+ 93	426	+ 28
	その他	Others	1,216	1,246	+ 30	437	+ 11
	合計	Total	9,712	10,460	+ 747	3,556	+ 272
営業利益	営業利益	Operating Income	626	782	+ 156	264	+ 29
	EBITDA*	EBITDA	1,608	1,714	+ 106	575	+ 15
	EBITDAマージン	EBITDA Margin (%)	15.6	15.3	△ 0.3	15.1	△ 0.9

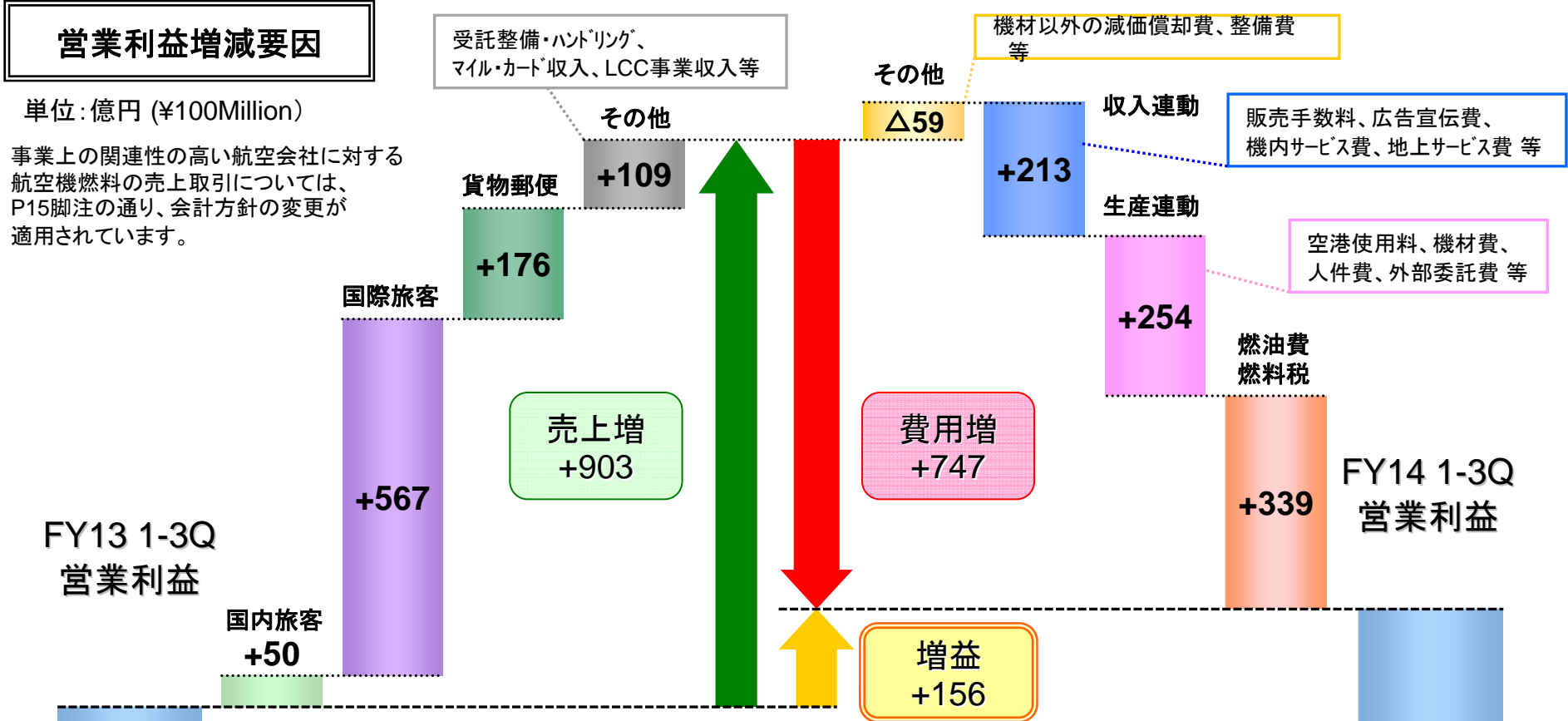
* EBITDA: 営業利益 + 減価償却費、休止固定資産減価償却費等を含む

航空事業

営業利益増減要因

単位：億円 (¥100Million)

事業上の関連性の高い航空会社に対する航空機燃料の売上取引については、P15脚注の通り、会計方針の変更が適用されています。



コスト構造改革	年度計画	3Q累計実績	進捗率
生産性向上	110	80	73%
投資適正化	50	35	70%
営業改革	35	25	71%
業務改革等	145	100	69%
計	340	240	71%

航空事業

国内旅客事業(実績)

		前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年比 % Y/Y	第3四半期 3Q/FY14	前年比 % Y/Y
座席キロ(百万)	Available Seat Km (million)	46,423	45,638	△ 1.7	14,990	△ 1.9
旅客キロ(百万)	Revenue Passenger Km (million)	28,809	29,264	+ 1.6	9,970	+ 1.1
旅客数(千人)	Passengers (thousands)	32,566	32,881	+ 1.0	11,205	+ 0.1
座席利用率(%)	Load Factor (%)	62.1	64.1	+ 2.1*	66.5	+ 2.0*
旅客収入(億円)	Passenger Revenues (¥100million)	5,182	5,232	+ 1.0	1,774	+ 2.1
ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ASK)	11.2	11.5	+ 2.7	11.8	+ 4.0
イールド(円)	Yield (¥/RPK)	18.0	17.9	△ 0.6	17.8	+ 0.9
単価(円)	Unit Price (¥/Passenger)	15,912	15,914	+ 0.0	15,833	+ 2.0

* 座席利用率のみ前年差

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエア含まず)

航空事業

国内旅客事業(事業動向)

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエアを含まず)

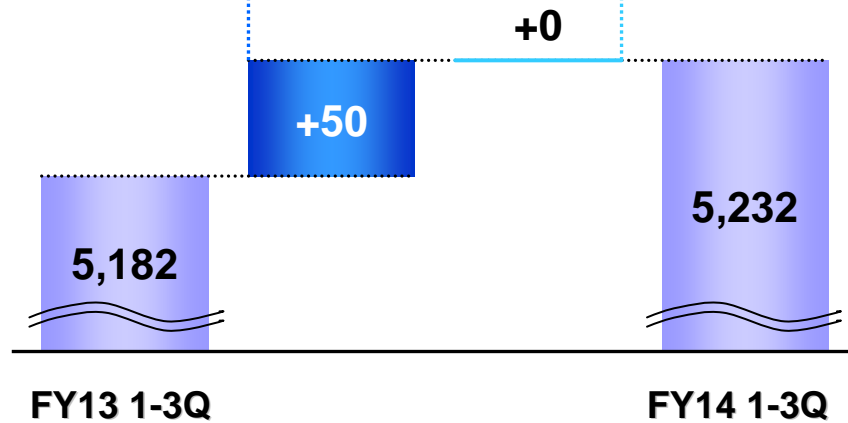
第3四半期累計 収入増減要因

四半期別 客体別 旅客数・単価推移

✓ 需給適合が奏功する中で、適切な運賃政策により増収

✓ 需要喚起型運賃の設定効果を含め、堅調に需要を獲得

旅客数要因		単価要因	
前年B787運航停止	+20 (0)	運賃改定	+60 (+30)
他社競合	△10 (+5)	他社競合	△10 (△0)
需要喚起策等	+40 (+0)	客体構成変化等	△50 (+0)

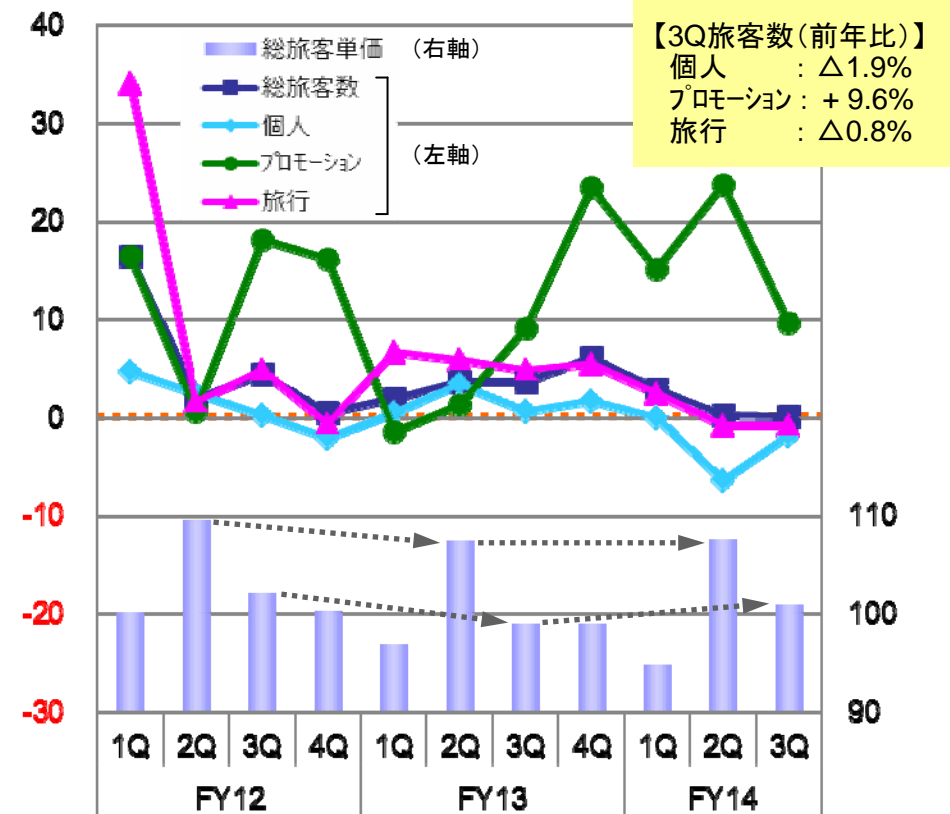


(カッコ内は第3四半期のみの実績値)

単位: 億円
(¥100Million)

旅客数 (前年比: %)

単価 (指数: 12年度 1Q=100)



航空事業

国際旅客事業(実績)

		前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年比 % Y/Y	第3四半期 3Q/FY14	前年比 % Y/Y
座席キロ(百万)	Available Seat Km (million)	30,908	37,218	+ 20.4	12,500	+ 16.5
旅客キロ(百万)	Revenue Passenger Km (million)	22,867	26,829	+ 17.3	8,803	+ 13.2
旅客数(千人)	Passengers (thousands)	4,757	5,361	+ 12.7	1,770	+ 11.5
座席利用率(%)	Load Factor (%)	74.0	72.1	△ 1.9*	70.4	△ 2.1*
旅客収入(億円)	Passenger Revenues (¥100million)	2,974	3,541	+ 19.1	1,183	+ 17.3
ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ASK)	9.6	9.5	△ 1.1	9.5	+ 0.7
イールド(円)	Yield (¥/RPK)	13.0	13.2	+ 1.5	13.4	+ 3.7
単価(円)	Unit Price (¥/Passenger)	62,521	66,054	+ 5.7	66,862	+ 5.2

* 座席利用率のみ前年差

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエア含まず)

航空事業

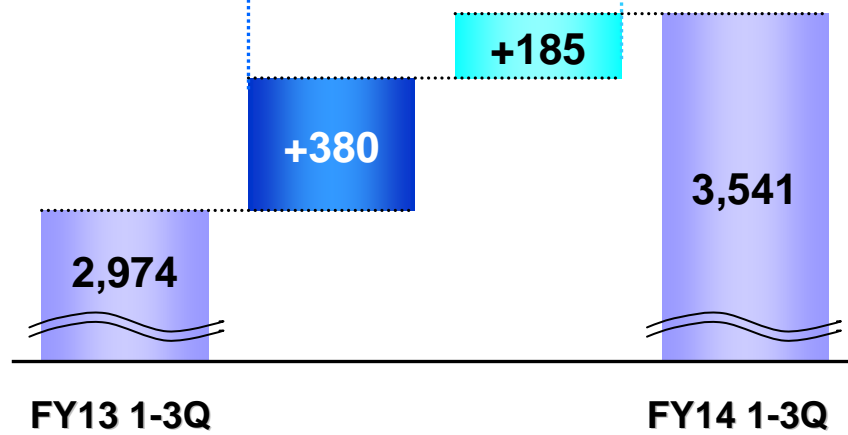
国際旅客事業(事業動向)

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエアを含まず)

第3四半期累計 収入増減要因

✓生産量拡大に見合う、大幅な増収の実現

旅客数要因		単価要因	
生産量	+225 (+60)	イールドマネジメント	+95 (+20)
需要動向	+20 (+0)	客体・路線構成変化	△40 (△35)
FSC	+90 (+30)	為替	+65 (+35)
営業施策等	+45 (+25)	FSC	+65 (+40)



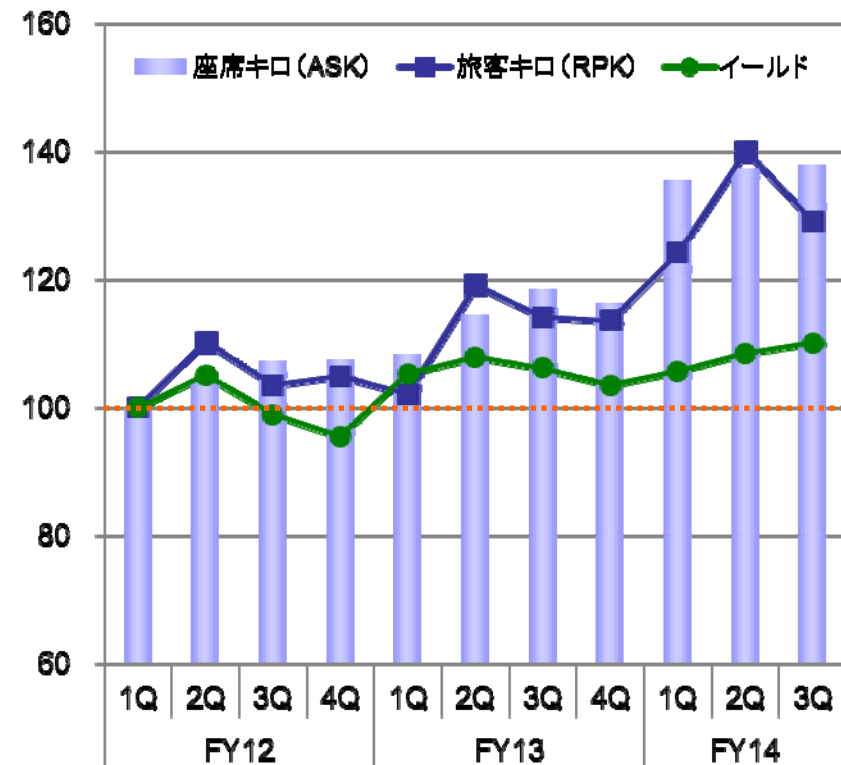
(カッコ内は第3四半期のみの実績値)

単位: 億円
(¥100Million)

四半期別 座席キロ・旅客キロ・イールド推移

✓イールドマネジメントを徹底しながら、着実に需要獲得

指数: 12年度 1Q=100



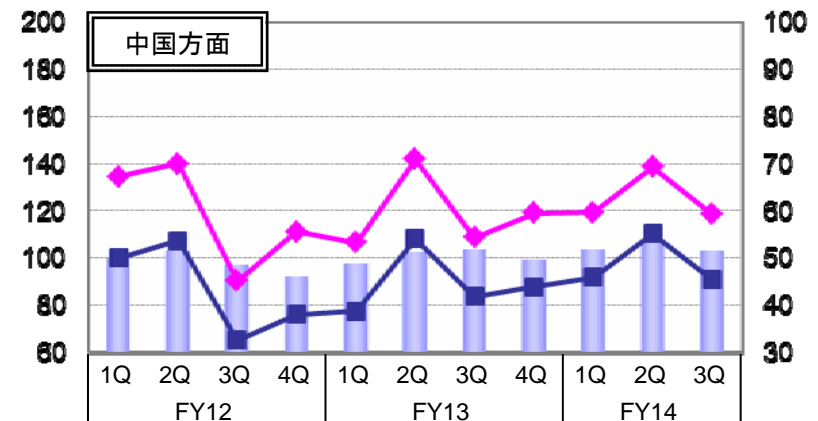
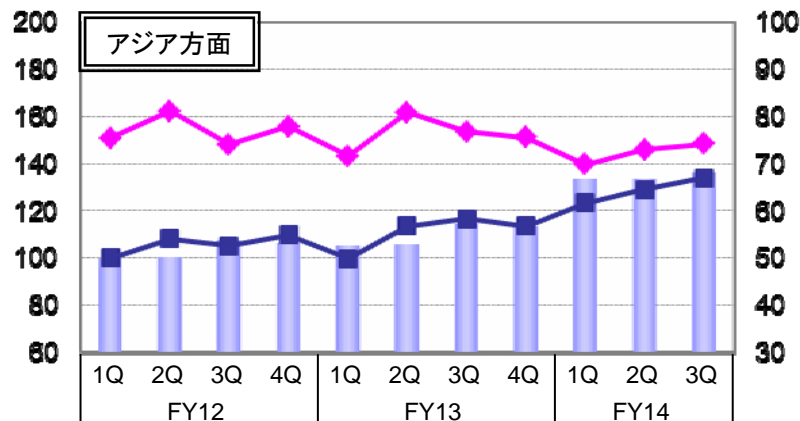
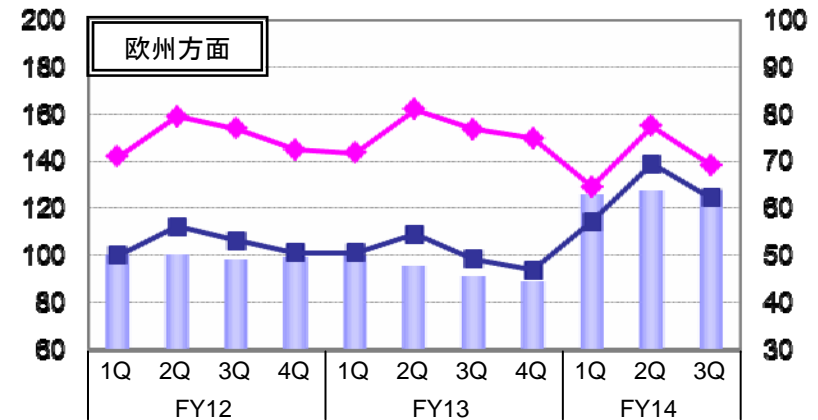
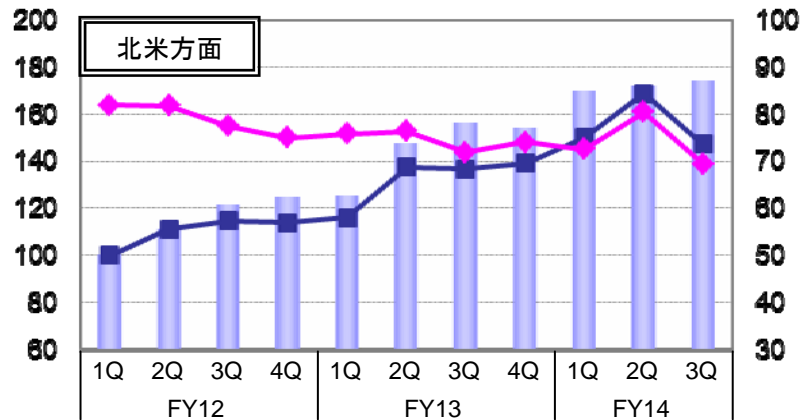
航空事業

国際旅客事業(事業動向)

(旧エアアジア・ジャパン、バニラエアを含まず)

四半期別 方面別 輸送実績推移

左軸(指数 FY12 1Q=100) ■:ASK ■:RPK 右軸(単位:%) ◆:L/F



Intentionally Blank

航空事業

国内貨物事業(実績)		前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年比 % Y/Y	第3四半期 3Q/FY14	前年比 % Y/Y
国内貨物 Domestic Cargo	有効貨物トンキロ(百万)	1,503	1,433	△ 4.7	469	△ 5.5
	有償貨物トンキロ(百万)	357	369	+ 3.5	133	△ 2.4
	貨物輸送重量(千トン)	361	369	+ 2.3	133	△ 3.3
	貨物重量利用率(%)	23.8	25.8	+ 2.0*	28.3	+ 0.9*
	貨物収入(億円)	243	251	+ 3.4	90	△ 0.4
	ユニットレベニュー(円)	16.2	17.6	+ 8.5	19.2	+ 5.4
	重量単価(円/kg)	67	68	+ 1.0	68	+ 3.0
【参考】 上記内数 国内 フレighter Domestic Freighter	有効貨物トンキロ(百万)	22	—	—	—	—
	有償貨物トンキロ(百万)	7	—	—	—	—
	貨物輸送重量(千トン)	7	—	—	—	—
	貨物重量利用率(%)	32.2	—	—	—	—
	貨物収入(億円)	9	—	—	—	—
	ユニットレベニュー(円)	42.6	—	—	—	—
	重量単価(円/kg)	126	—	—	—	—

* 貨物重量利用率のみ前年差

Intentionally Blank

航空事業

国際貨物事業(実績)		前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年比 % Y/Y	第3四半期 3Q/FY14	前年比 % Y/Y	
国際貨物 International Cargo	有効貨物トンキロ(百万)	Available Ton Km (million)	3,373	4,135	+ 22.6	1,393	+ 15.8
	有償貨物トンキロ(百万)	Revenue Ton Km (million)	2,165	2,731	+ 26.1	929	+ 16.3
	貨物輸送重量(千トン)	Revenue Ton (thousand tons)	528	646	+ 22.2	217	+ 12.0
	貨物重量利用率(%)	Load Factor (%)	64.2	66.0	+ 1.8*	66.7	+ 0.3*
	貨物収入(億円)	Cargo Revenues (¥100million)	776	938	+ 20.9	340	+ 19.3
	ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ATK)	23.0	22.7	△ 1.4	24.5	+ 3.1
	重量単価(円/kg)	Unit Price (¥/kg)	147	145	△ 1.1	156	+ 6.6
【参考】 上記内数 国際 フレイター International Freighter	有効貨物トンキロ(百万)	Available Ton Km (million)	727	931	+ 28.1	312	+ 17.8
	有償貨物トンキロ(百万)	Revenue Ton Km (million)	446	577	+ 29.4	190	+ 15.2
	貨物輸送重量(千トン)	Revenue Ton (thousand tons)	242	290	+ 19.9	96	+ 8.7
	貨物重量利用率(%)	Load Factor (%)	61.3	62.0	+ 0.6*	60.9	△ 1.4*
	貨物収入(億円)	Cargo Revenues (¥100million)	289	352	+ 21.7	123	+ 18.6
	ユニットレベニュー(円)	Unit Revenue (¥/ATK)	39.8	37.8	△ 4.9	39.6	+ 0.7
	重量単価(円/kg)	Unit Price (¥/kg)	119	121	+ 1.5	129	+ 9.1

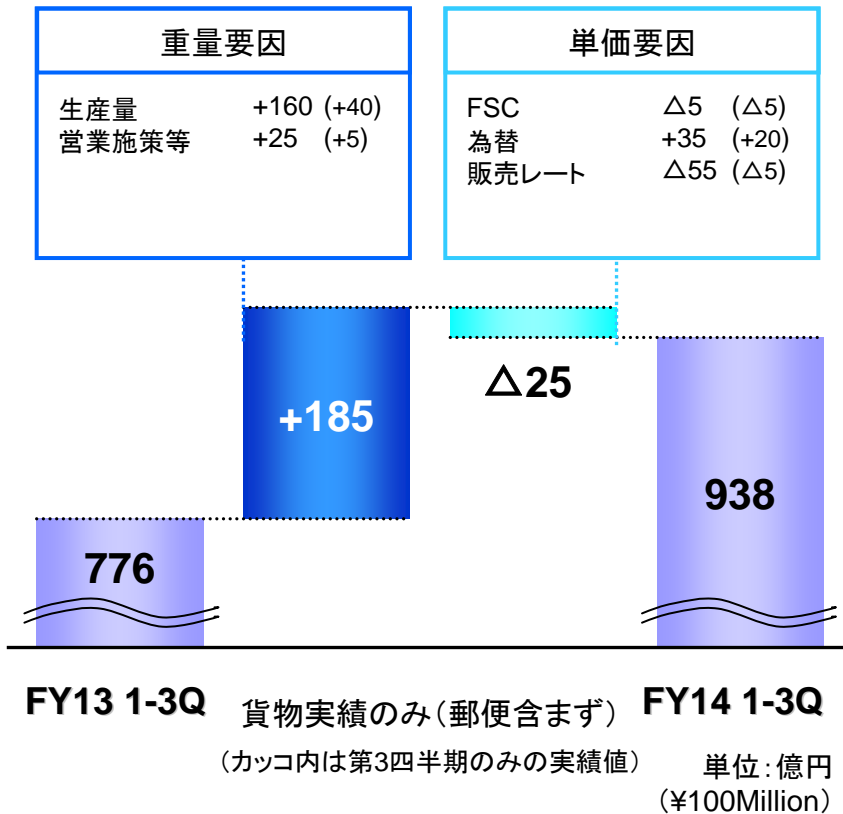
* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業(事業動向)

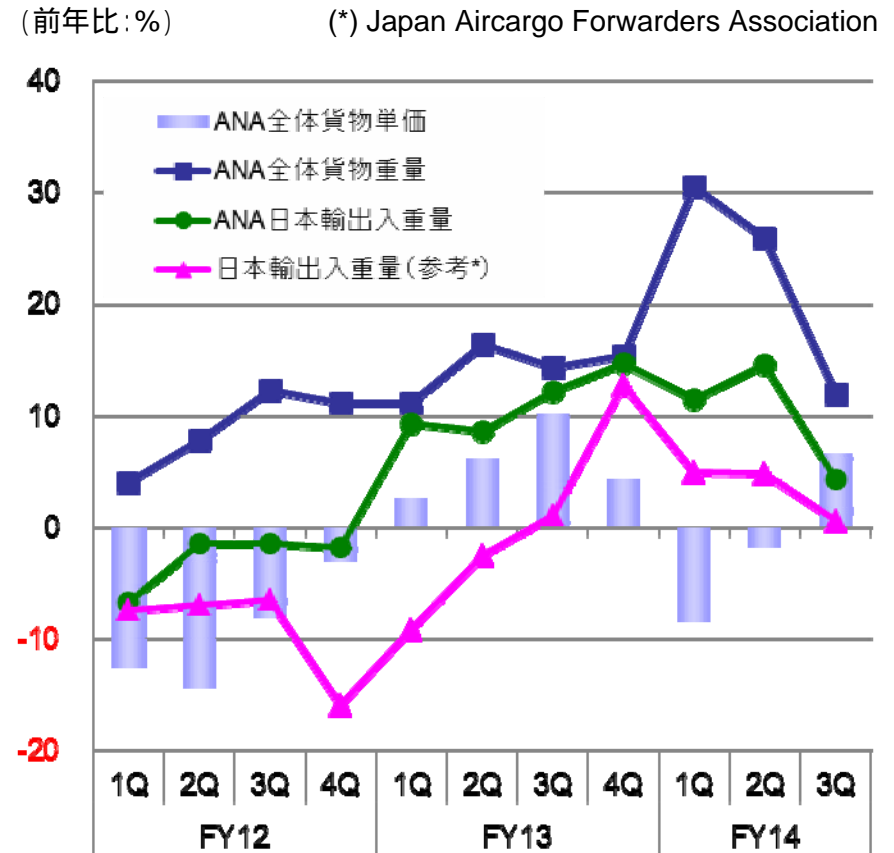
第3四半期累計 収入増減要因

✓ 需要の取り込み拡大を通じて大幅な増収に結実



四半期別 輸送実績・単価推移

✓ 三国間流動貨物の獲得強化を図る中、単価も改善へ



航空事業

LCC事業(実績)

国内線・国際線合計

		前年同期* 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年比 % Y/Y	第3四半期 3Q/FY14	前年比 % Y/Y
座席キロ(百万)	Available Seat Km (million)	936	1,571	+ 67.9	473	+ 381.7
旅客キロ(百万)	Revenue Passenger Km (million)	627	1,208	+ 92.5	388	+ 431.5
旅客数(千人)	Passengers (thousands)	536	821	+ 53.0	251	+ 383.4
座席利用率(%)	Load Factor (%)	67.1	76.9	+ 9.8* *	82.1	+ 7.7* *

*旧エアアジア・ジャパンとしての実績を含む

* *座席利用率のみ前年差

機材計画

運用航空機数:6機
(2014年12月末時点)
14年度末:8機

→ 成田空港 第3ターミナルへ移転予定(2015/4/8~)



航空事業以外のセグメント

セグメント別実績

単位: 億円 (¥100Million)

		航空関連事業			旅行事業		
		前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年差 Difference	前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年差 Difference
売上高	Revenues	1,422	1,705	+ 282	1,335	1,306	△ 28
営業利益	Op. Income	62	94	+ 32	42	44	+ 2
減価償却費	Depreciation and Amortization	23	33	+ 10	0	0	△ 0
EBITDA*	EBITDA	85	128	+ 43	42	44	+ 2
EBITDAマージン	EBITDA Margin (%)	6.0	7.5	+ 1.5	3.2	3.4	+ 0.2

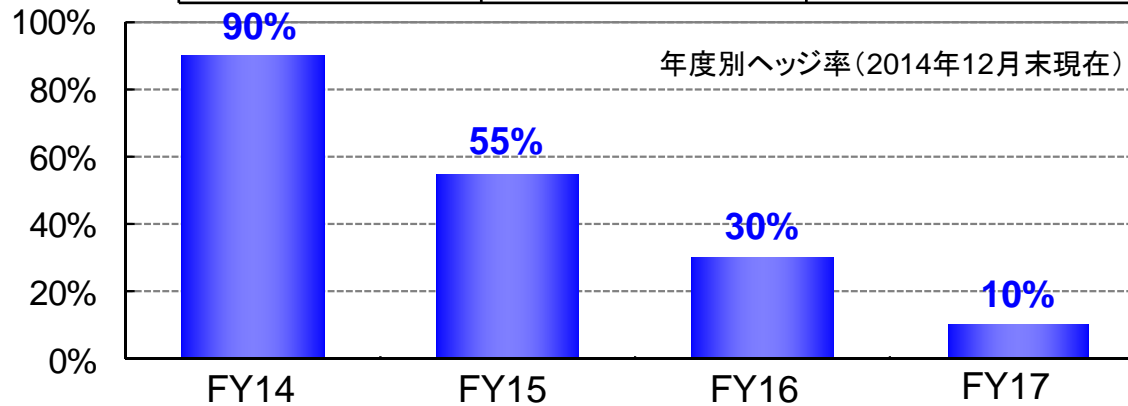
		商社事業			その他		
		前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年差 Difference	前年同期 1-3Q/FY13	第3四半期累計 1-3Q/FY14	前年差 Difference
売上高	Revenues	826	949	+ 122	217	235	+ 17
営業利益	Op. Income	29	32	+ 3	9	13	+ 4
減価償却費	Depreciation and Amortization	5	7	+ 1	1	1	△ 0
EBITDA*	EBITDA	34	39	+ 5	10	14	+ 4
EBITDAマージン	EBITDA Margin (%)	4.2	4.2	△ 0.0	4.9	6.2	+ 1.4

* EBITDA : 営業利益 + 減価償却費

燃油・為替ヘッジの進捗状況

燃油

2014年度	ドバイ原油(US\$/bbl)	シンガポールケロシン(US\$/bbl)
通期業績予想前提値	107	125
1-3Q実績	94.1	109.6

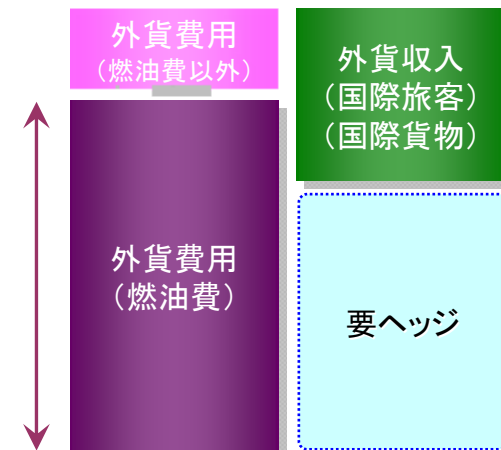
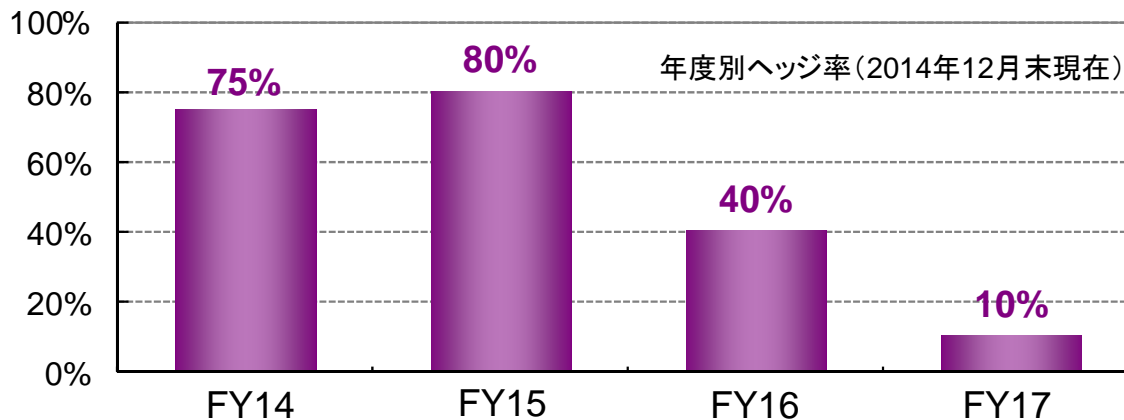


(下記感応度はヘッジ効果を含まず)

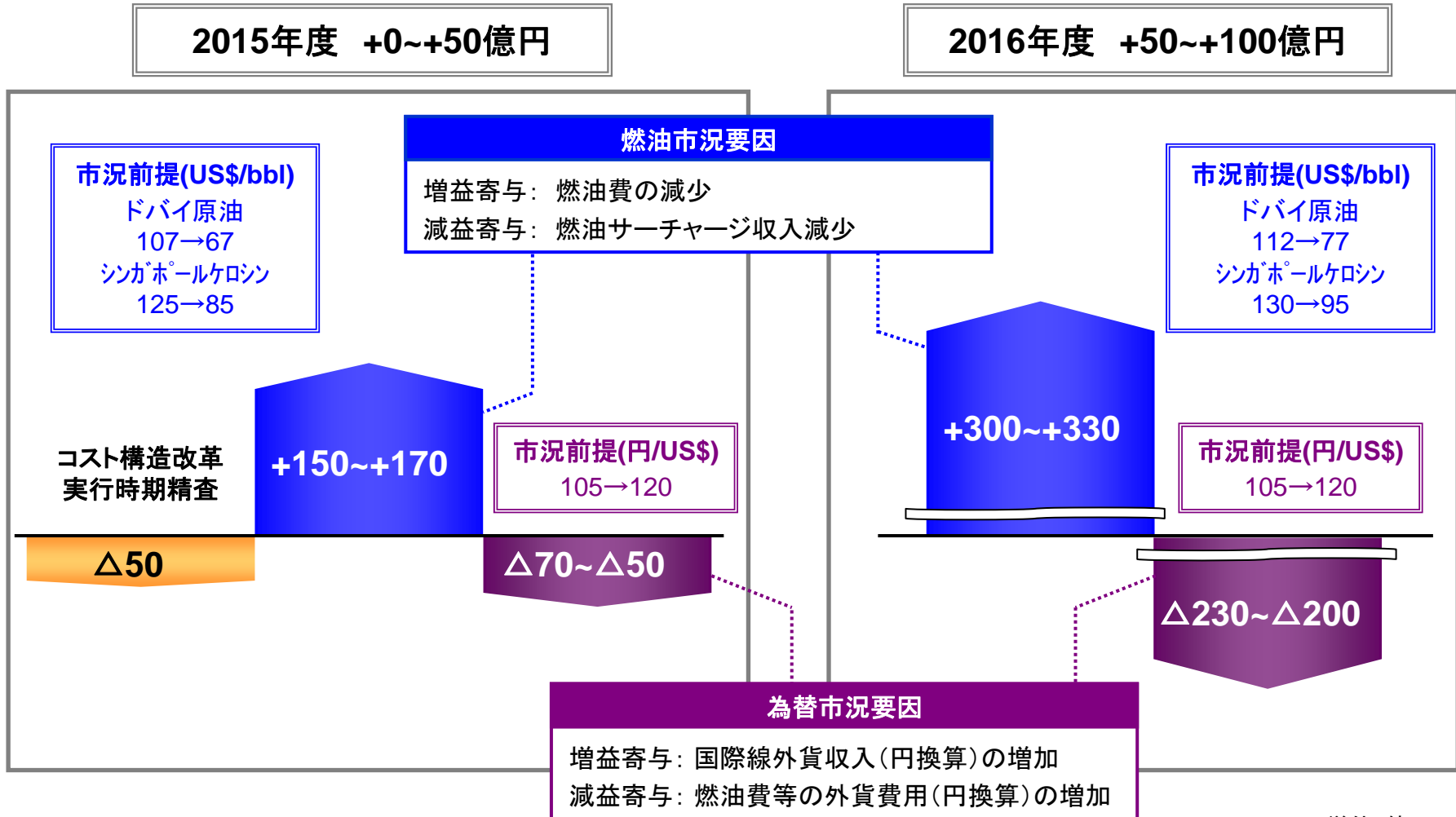


為替

2014年度	円/US\$
通期業績予想前提値	105
1-3Q実績	106.7



営業利益計画への影響試算



単位: 億円
(¥100Million)

. 補足資料



補足資料

国際旅客 方面別実績(構成比)			第3四半期 累計構成比 1-3Q/FY14 Composition	前年差 Difference	第3四半期構成比 3Q/FY14 Composition	前年差 Difference
旅客収入 Revenue	北米	North America	32.7	+ 1.0	31.8	△ 1.1
	欧州	Europe	21.0	+ 0.9	20.0	+ 1.4
	中国	China	14.8	△ 1.2	14.9	△ 0.4
	アジア	Asia	27.5	△ 0.4	29.4	+ 0.1
	リゾート	Resort	3.9	△ 0.3	3.9	△ 0.1
座席キロ ASK	北米	North America	35.1	△ 0.1	35.2	△ 1.6
	欧州	Europe	20.4	+ 1.9	20.4	+ 3.5
	中国	China	11.2	△ 1.9	10.9	△ 1.9
	アジア	Asia	29.4	+ 0.8	29.6	+ 0.6
	リゾート	Resort	4.0	△ 0.8	3.9	△ 0.7
旅客キロ RPK	北米	North America	36.0	+ 0.6	34.7	△ 1.7
	欧州	Europe	19.9	+ 0.9	20.0	+ 2.1
	中国	China	9.7	△ 0.8	9.2	△ 0.4
	アジア	Asia	29.5	△ 0.0	31.1	+ 0.5
	リゾート	Resort	4.8	△ 0.7	5.0	△ 0.4

補足資料

国際貨物 方面別実績(構成比)			第3四半期 累計構成比 1-3Q/FY14 Composition	前年差 Difference	第3四半期構成比 3Q/FY14 Composition	前年差 Difference
貨物収入 Revenue	北米	North America	22.8	+ 1.1	24.5	+ 2.0
	欧州	Europe	14.5	+ 0.2	14.3	+ 0.6
	中国	China	34.2	△ 2.9	33.9	△ 3.2
	アジア	Asia	21.8	+ 1.9	20.8	+ 1.0
	その他	Others	6.7	△ 0.3	6.4	△ 0.4
有効貨物 トンキロ ATK	北米	North America	35.0	△ 3.0	34.9	△ 4.0
	欧州	Europe	20.8	+ 0.7	20.7	+ 3.0
	中国	China	16.4	△ 1.1	16.5	△ 1.1
	アジア	Asia	23.9	+ 3.6	23.5	+ 2.4
	その他	Others	4.0	△ 0.2	4.3	△ 0.2
有償貨物 トンキロ RTK	北米	North America	38.7	△ 0.5	39.1	△ 1.5
	欧州	Europe	23.3	+ 0.5	23.4	+ 2.3
	中国	China	13.7	△ 2.3	13.7	△ 2.3
	アジア	Asia	20.4	+ 2.5	19.9	+ 1.9
	その他	Others	4.0	△ 0.3	3.9	△ 0.4

補足資料

運用航空機数		前年度期末 Mar 31, 2014	第3四半期末 Dec 31, 2014	増減 Change	保有機数 Owned	リース機数 Leased
大型機 Wide-Body	Boeing 747-400 (Domestic)	1	0	△ 1	0	0
	Boeing 777-300ER	19	19	—	16	3
	Boeing 777-300	7	7	—	7	0
	Boeing 777-200ER	12	12	—	6	6
	Boeing 777-200	16	16	—	14	2
	Boeing 787-9	0	2	+ 2	2	0
中型機 Mid-Body	Boeing 787-8	27	32	+ 5	30	2
	Boeing 767-300ER	26	26	—	9	17
	Boeing 767-300	21	19	△ 2	19	0
	Boeing 767-300F	2	3	+ 1	0	3
	Boeing 767-300BCF	7	7	—	7	0
小型機 Narrow-Body	Airbus A320-200	19	18	△ 1	12	6
	Boeing 737-800	24	30	+ 6	24	6
	Boeing 737-700ER	2	2	—	2	0
	Boeing 737-700	11	10	△ 1	7	3
	Boeing 737-500	15	17	+ 2	17	0
リージョナル機 Regional	Bombardier DHC-8-400 (Q400)	21	21	—	14	7
	Bombardier DHC-8-300 (Q300)	1	0	△ 1	0	0
合計 Total		231	241	+ 10	186	55

ANAグループが目指すもの

グループ経営理念

安心と信頼を基礎に
世界をつなぐ心の翼で
夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
私たちはお互いの理解と信頼のもと
確かなしくみで安全を高めていきます
私たちは一人ひとりの責任ある
誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、
お客様満足と価値創造で
世界のリーディングエアライングループを目指します

免責事項

当資料は、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社の主要事業である航空運送事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

ご清聴ありがとうございました。

Thank you.

当資料はホームページでもご覧いただけます。

This material is available on our website.

<http://www.anahd.co.jp>

[日本語] 株主・投資家情報 → IR資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス株式会社 財務企画・IR部

電話番号 03(6735)1030(代) メールアドレス ir@anahd.co.jp